

専務理事)が開催趣旨について、事業用トラックの死亡事故が増加傾向で「憂慮すべき状況」にあり、警視庁などから対策強化の要請を受けていることを踏まえ、事故防止大会を開催することになった旨、説明した。

この後、「事故防止対策検討会」の江森東委員長(東ト協副会長・運輸安全委員長)が、地域ごとの事故特に応じた対策を検討・策する方針を説明し、「連携して事故をなくすよう努めていきたい」とした。

引き続き、茨城ト協の熊寛副会長と群馬ト協の藤野也青年部会長が、それぞれ各県協会での事故防

止への取り組みについて発表。また自動車安全運転センターの石川博敏理事が、交通事故発生状況の分析データに基づき、今後、取り組むべき事故防止対策をテーマに講演した。

さらに事故抑止への決意表明として、各都県正副会長らが壇上に居並び、江森委員長をコルリリーダーに参加者全員で、「トラック業界から交通事故を撲滅するぞ!」とシユプレヒコールした。

事業者大会ではこの後、千葉ト協青年部会の藤川勇祐本部長が大会宣言を読み上げ、採択した。

なお、大会では関ト協前副会長の古屋方彦氏(東ト協前副会長)をはじめ、7氏に感謝状を贈り表彰。また、千葉県森田健作知事らが来賓あいさつした。

〔関連記事5面掲載〕

討会の最終取りまとめが行われ、新たな運転免許区分として、総重量3.5ト以上7.5ト未満の貨物車について18歳で取得できる方向が示され、次期通常国会には(制度改正法案が)提出されることになっている。

これは、我々が一致結束して声をあげ、そして声を届けてきた成果であり、今後とも一つひとつ確実に結果を出すべく、前に進んでいきたいと考える。

業界を取り巻く環境は、行き過ぎた規制緩和の結果、運賃は低下の一途を辿り、さらに高騰する燃料問題などで大変厳しい状況だが、国民生活と経

済のライフラインとして、一丸となって諸課題に取り組んでいく必要がある。特に事故防止に関しては、バス、タクシーなど運輸業界全体では人身事故、死亡事故件数が減少しているが、営業用トラックだけが昨年に比べ大きく増加している。

このような背景もあり、事故防止のさらなる徹底を図るため、今年は事業者大会と事故防止大会を同時に開催することにした。有意義な大会となるよう協力をお願いする。

紙面あんない

国交省・27年度予算概算要求
 低金利融資で車両購入を
 10月4・5日を中心に業界PR
 関東ブロック事故防止大会
 全ト協、緊急特別安全対策を展開

7 5 4 3 2

**「トラガール」
 安倍首相を表敬訪問**

トラック
 運送業界で活躍する女性トラック
 2人が9月9日、安倍晋三首相を表敬訪問し、激励を受けた。



安倍首相を囲む山根さん(左隣)と小島さん(右隣)、北川国交副大臣(左端)、星野全ト協会長(左から2番目)、有村女性活躍担当大臣(右端)

表敬訪問したのは、東京都トラック協会の会員事業者・川崎陸送の山根理絵さんと、鳴海急送の小島美千代さん。

女性ドライバーの雇用促進に取り組む、国土交通省の北川イッセイ副大臣や有村治子女性活躍担当大臣、および全日本トラック協会の星野良三会

長らに伴われ、表敬訪問した。

山根さんは大型トラックドライバーで、東日本大震災の際には救援物資の緊急輸送にも従事。同日はトラックのハンドルを携えて訪れ、安倍首相

がハンドルを手にして欲談するひと幕もあった。

安倍政権は政策として「女性の活躍」を掲げており、この一環としてトラック業界などへの女性進出を後押しする狙いから、面談が行われたもの。



**東ト協各支部が
 統一街頭活動**

平成26年秋の全国交通安全運動(9月21~30日)期間中の9月24日、東ト協では20支部が歩調を合わせて、都内各所で交通安全を呼びかける街頭指導活動を展開した。効果的に交通安全活動を行うため、同日を「統一実施日」に設定して街頭活動を行ったもの。

朝の通勤時間帯を中心として、各地域の主要な交差点などでノベルティや啓発チラシを配布しながら、交通ルールの遵守や事故防止を呼びかけ、あわせて歩行者誘導などを行った。

秋の全国交通安全運動 9月30日まで
交差点では左右の安全確認を

**交通ルールの
 遵守を**

軽油の価格

1ℓ当たりの軽油価格 (東ト協調べ)

☆スタンド	138.0~136.8円	平均=137.50円
☆ローリー	131.4~123.1円	平均=126.14円
☆元売り発行カード	150.8~122.1円	平均=134.00円
☆ディーラー発行カード	152.8~121.1円	平均=131.63円

8月分

購入価格は、購入に関する諸要因(数量・支払条件・地域ほか)により多少の幅があります(消費税込み)。

古紙パルプ含有率80%再生紙を使用 R280